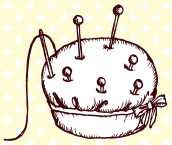
乳がん体験者が作ったパッド



しずくパッドを開発したのは、プロの洋裁師の一宮美恵子さん（札幌市在住）。

自身が乳がん体験後、既製品に満足できず、自分用に作ったパッドが原型となっています。

乳がん術後に乳房を補整するための乳がんパッドは、乳房のふくらみを保つためだけでなく、姿勢やバランスの保持、皮膚の保護のためにも重要だといわれています。

さまざまなメーカーから販売されている乳がんパッドは、素材もシリコンやウレタン、布などさまざま、形もいろいろで、それぞれ長所と短所があります。市販品に対しては「値段が高い」「形や大きさが合わない」「ずれる」「重たい」「洗えない」「蒸れる」「肩がこる」「かぶれる」「洗えない」などの声がありました。

既製品の問題を解決するために、一宮さんが 40 年以上の洋裁経験を生かして作り上げたのが「しずくパッド」です。プロの技と体験者ならではの細やかな知恵が詰まっています。

しずくの形にすることで、脇の下までカバーできます。中に入れる素材も研究を重ね、適度な重さがあってずれにくく、それでいて長時間装着してもつらくならないよう、特徴の異なる２種類のペレット素材を組み合わせました。形を保つため、生地の裁断にもこだわっています。手縫いなので風合いが柔らかく、自然なカーブで身体にフィットします。洗濯機で洗えて、清潔さを保てます。

「自らの経験と技術を他の人のためにも役立てることができたら…」という一宮さんの思いが形になったしずくパッド。2015 年 2 月には、意匠登録を取得しました。

さらに詳しい情報は「キャンサーサポート北海道」のウェブサイトをご覧ください。北海道内で試着可能なしずくパッドの見本を置いている病院の情報も掲載しています。

http://cancersupport.jp/breastpadsales

「しずくパッド」サイズ選びのコツ

- スポーツブラやおしゃれブラなど、ブラジャーによって最適なパッドのサイズが変わることがあります。
- ゆったりした着け心地のブラがお好みの場合は、ひとまわり小さいサイズの方がよいという声も聞きます。また、迷った時は小さめのサイズがオススメです（大きすぎると調整が難しいですが、小さい場合は薄手のブラパッドやタオルハンカチなどで調整しやすいため）。
- S と 2S、M と MS、L と LM は型紙が同じですが、ビーズの総量が異なります。乳房の張りがなくなってくる年齢の方は、ビーズが少なめの方が形を整えやすいという声もあります。例えば M サイズの方でも、お出かけ用のブラは M、ゆったりブラは MS が良い場合もあるようです。
- 市販のブラジャーをご利用の場合、パッドはブラのポケットには入れずに、直接肌に触れるようにすると形がきれいに出ます。

●サイズ・料金表

（サイズ、重さは製品ごとでわずかな差があります）

サイズ	重さ	縦	横	高さ	料金
2S	85g	11cm	16cm	3.5cm	1 個 3,000 円（税込）
S	100g	11cm	16cm	4cm	
MS	115g	12cm	17cm	4.5cm	
M	130g	12cm	17cm	5cm	
LM	150g	13.5cm	18.5cm	5.5cm	
L	165g	13.5cm	18.5cm	6cm	
2LM	168g	14cm	19cm	5.5cm	1 個 4,000 円（税込）
2L	195g	14cm	19cm	6cm	

2LM・2Lはクリームのみとなります

●カップとアンダーバストによるサイズの目安

	65～70cm	70～75cm	75～85cm
A カップ	2S	MS	M
B カップ	S	M	LM
C カップ	S	M	LM または L
D カップ	S または MS	M または LM	L
E カップ		2LM	2L

レース（綿ニット）　ピンク（ダブルガーゼ）　クリーム（ダブルガーゼ）